



## 国際的な賞 ラムサール賞受賞

NPO法人ラムサール・ネットワークの日本理事で日本雁を保護する会会長の呉地 正行さん(若柳下町1)が、ラムサール賞におけるワイズユース(湿地の賢明な利用)賞を受賞しました。呉地さんは、1970年代から雁類の渡り経路の解明に取り組み、水田の生物多様性の向上、渡り鳥生息地として質の向上を目指す活動、湿地を生息地とする鳥類の保護活動などが評価されました。日本人のラムサール賞受賞は3人目で、ワイズユース賞では初の受賞となりました。



## 山脈ハウス営業再開

7月1日(金)、栗原市高原創造センター(山脈ハウス)が営業を再開しました。山脈ハウスは開業以来、栗駒山麓利用組合が運営してきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により客足が遠のく状態が続いたことなどから、昨年度、休業していました。式典では、栗駒山に多くの観光客が訪れ、地域が活性化することを期待しながら、新たに指定管理者となった株式会社ゆめぐり代表や市長、栗駒耕英行政区長がテープカットを行い、施設の再開を祝いました。



## 長寿100歳おめでとうございます

6月15日(水)に千葉 きよきさん(瀬峰下荒町)、25日(土)に岸 湊さん(鶯沢日向)が100歳を迎えられました。千葉さんは、普段の会話が面白くてかわいらしい内容が多いそうです。家に居るのが大好きで、同居のお嫁さんにも感謝を伝えるなどしながら、穏やかに過ごされているそうです。体を動かすのが好きだった岸さんは、シニアソフトボールで仲間づくりに励み、ねりんピック宮城県代表選手として、活躍されてきたそうです。



## 国土交通大臣から感謝状贈呈

6月1日(水)、地域気象観測所の観測業務に長年貢献した功績に対し、金澤 大樹さん(栗駒耕英)に、感謝状が贈呈されました。金澤さんは、1981年から41年にわたり、栗駒ノ湯地域のアメダス観測施設の維持管理に貢献されてきました。受領にあたり「近頃は気象変動が激しく、アメダスの存在は今まで以上に重要になると思います。多くの生命や財産を守る装置の一つなので、もっとアメダスを知ってもらえるよう努めたいです」と述べられました。



(左から)菅原さん、赤間さん

## 全国大会優勝を目指して

8月20日(土)、神奈川県日産スタジアムで開催される「日清食品カップ第38回全国小学生陸上競技交流大会」に、市内から2人の選手が出場します。出場するのは、6年生女子100メートルに金成小中学校の菅原 結愛さん(金成宇南)、女子コンバインドBに瀬峰小学校6年の赤間 葵さん(瀬峰藤田)です。2人は、6月26日(日)に行われた宮城県大会で1位の成績を挙げ、全国大会出場を決めました。



(左から)熊谷大誠さん、千葉(陽)さん、熊谷大雅さん、千葉(颯)さん、佐藤さん

## 大好きな野球で全国大会出場

8月8日(月)から14日(日)まで、東京都内の各野球場で開催される「高円宮賜杯第42回全日本学童軟式野球大会」に、市内から5人の選手が出場します。出場するのは、千葉 颯太さんと千葉 陽太さん(共に若柳有賀)、熊谷 大雅さんと熊谷 大誠さん(共に金成有壁3)、佐藤 誠剛さん(金成南2)です。5人は大崎市を拠点とするチーム、大崎ジュニアドラゴンのメンバーです。1戦1戦集中して、今回の大舞台に挑戦してくるそうです。



## 地域盛り上げるマルシェ

6月26日(日)、一迫真坂地区商店街で「第8回いちばさま軒下マルシェ」が開催されました。軒下マルシェは、地域活性を目的に平成30年から始まり、今回で8回目。商店会に加盟する店舗が店先や特設テントで、限定販売や季節の野菜、手作りの菓子、雑貨などを販売しました。また、一迫商業高等学校商業研究部が協力参加し、イベントのチラシ作成をはじめ、運営を手伝いました。多くの人が訪れにぎわう中、買い物客は「こういう雰囲気は久しぶり」と喜んでいました。



## 日頃の活動成果を発表

6月25日(土)と26日(日)、若柳ドリーム・パルと若柳公民館を会場に「第29回宮城県高等学校総合文化祭総合開会式」と「第29回栗原・登米支部総合文化祭」が、同時開催されました。総合文化祭は同日から来年1月まで、22部門が県内各地で開かれます。この日行われた総合開会式では、文化祭ポスター原画を制作した迫桜高等学校2年生の安倍 陽菜さんに表彰状が贈られ、合唱や吹奏楽などのステージ発表の他、絵画や写真などが展示され、来場者の関心を集めていました。